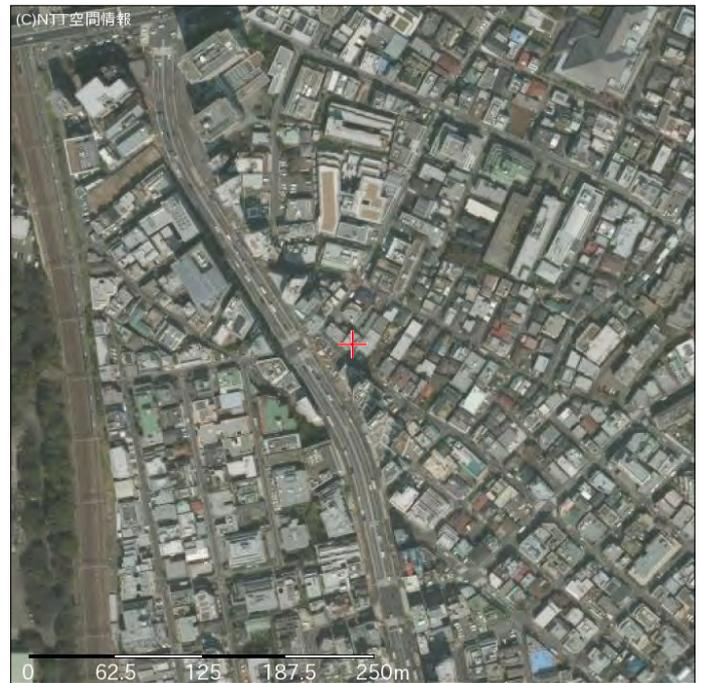


調査対象地（住所）：東京都渋谷区

（北緯：35度40分41.86秒 東経：139度42分21.89秒）



昭和56年以前の非木造建築物の推定PML

PML(%)	危険度	予想される被害
0～10	極めて低い	設備の被害・構造体の軽微な被害
10～20	低い	設備の被害・構造体の局所的な被害
20～30	中位	中破の可能性が高い
30～60	高い	大破の可能性が高い
60～	非常に高い	倒壊の可能性が高い

昭和57年以降の非木造建築物の推定PML

PML(%)	危険度	予想される被害
0～10	極めて低い	設備の被害・構造体の軽微な被害
10～20	低い	設備の被害・構造体の局所的な被害
20～30	中位	中破の可能性が高い
30～60	高い	大破の可能性が高い
60～	非常に高い	倒壊の可能性が高い

昭和56年以前の木造建築物の推定PML

PML(%)	危険度	予想される被害
0～10	極めて低い	設備の被害・構造体の軽微な被害
10～20	低い	設備の被害・構造体の局所的な被害
20～30	中位	中破の可能性が高い
30～60	高い	大破の可能性が高い
60～	非常に高い	倒壊の可能性が高い

昭和57年以降の木造建築物の推定PML

PML(%)	危険度	予想される被害
0～10	極めて低い	設備の被害・構造体の軽微な被害
10～20	低い	設備の被害・構造体の局所的な被害
20～30	中位	中破の可能性が高い
30～60	高い	大破の可能性が高い
60～	非常に高い	倒壊の可能性が高い

PMLとは

PML (Probable Maximum Loss) とは、475年に1回起こる最大の地震 (=50年に10%を越える確率で起こる地震) により、ある建物が被る被害損額の最大値 (90%非超過確率) を再調達原価に占める割合で現したものです。
 例：再調達原価が1億円、PMLが50%の場合、475年に1回起こる最大の地震により、5,000万円の損害が見込まれます。

データ提供：日本地価評価システム株式会社

- 1.当PML診断は、下記のデータを元に日本地価評価システム株式会社が独自に判定したものです。
 - ・地震動予測地図データ (<https://www.j-shis.bosai.go.jp>)
 - ・東京都地震被害想定 (1997年)
 - ・内閣府地震被害想定支援マニュアル
- 2.上記のPMLでは液状化現象に伴う建物の被害は考慮されておりません。
- 3.上記のPMLは統計上の数値をもとに簡易的に算出したものです。
個々の建物の耐震性能、局地的な地盤状況等により実際のPMLが大きく異なる場合があります。
- 4.このコンテンツを利用することにより、如何なる損害を被られたとしても弊社は一切の責任を負いません。
- 5.利用者は他人に対して損害を与えた場合、自己の責任により解決し、弊社に一切の損害を与えないものとします。

本レポートの改変・加工・複製・販売を禁じます。(本レポートを報告書の一部に使用する等の2次利用を禁じます)
 本レポートをご利用になったことにより生じるいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。